

地域母子保健サービスの充実に関する研究
— 桐生市における4才児健診施行成績 —

藤井 均（桐生市医師会）
正田 博之（ ” ” ）

1. はじめに

昭和59年度は現行の母子保健制度に対して総合的に第一線の小児科医としての意見を総め今後の方針について検討した。今年は一歩進めて具体的に新しい試みとして4才児健診について一部テストケースとして実施したのでその成績について検討した。

2. 実施にあたって

現在施行されている乳幼児の健診体制は各都道府県、各市町村において独自な方法でおこなわれている部分が多い。

桐生市では集団健診が基本で3カ月、6カ月、1才半健診は市、3才児健診のみ保健所で、さらに就学児（5～6才）は市の学校教育課でおこなわれ、1人の子供に対して縦のつながりを見るのに不十分である。桐生保健所は1市2町3村を総括しているため、健診ばかりでなく予防接種などにも不便をきたしている。また同じ県内でも各地区ばらばらの健診体制がとられている現状で、全国的な統一は困難かと思われるが、将来の日本を背おって行く子供を考えると早急にてがけていく必要があると思われる。

このたび機会があり桐生市においてその統一を、また0才から就学まできめ細かくみていくことで、3カ月、6カ月、1才半、3才につづけて4才児健診をおこない、できれば5～6才の就学時健診につなげるという考えで4才児健診を施行した。

1) 対象

桐生市の人口は13万余りで、4才児（昭和55年4月1日～56年3月31日生）は1,452名、3才児（昭和56年4月1日～57年3月31日生）は1,420名で、1年間で1,400人余りが該当する

ことになった。

4才児1,452名の内訳は保育園児790名、幼稚園児488名、未就園児174名であるが、今回初めての試みで、全員施行による混乱をさけ、テストケースとして保育園児94名、幼稚園児104名、未就園児50名の計253名について施行した。実際には欠席者18名で235名が対象となった。

2) 健診方法

健診は園医である小児科医、歯科医さらに検査技師による検尿をおこない眼科的な面は問診を主体に保健婦があたった。

母子健康カードは今後の0才児からのつながりを考え、表1のようにつみ重ねていく方式とし、この表は4才児の所で3カ月、6カ月など必要に応じて古い所見がみられるように工夫した。

3) 結果

表2に示すように眼に関する有所見児が185名と多く、また歯でう歯が53名（平均4本のう歯）と多くみられた。検尿は尿糖みられず、潜血、蛋白も疑陽性が少量みられたのみであった。身長、体重でも2SDをこえる異常児はなかったが、今後、低身長、成人病につながる肥満などには注意が必要と思われる。内科的に夜尿、言葉の問題、行動異常と思われるケースが2,3みられ助言指導、追跡観察とした。なお一例、耳管狭窄による聴力障害児がみられ、今後、眼と同様に聴力に関する問題も検討が必要と思われる。

今回、4才児健診の結果では眼における精検児を多くだしたことが一番問題となった。眼科医と相談して作製した質問事項は表3に示すが、これを個々について結果とあわせ細かく検討すると、家庭事情でテレビをみる距離が近いこと、

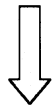
表3 眼に関する質問事項

A. こどもの目の位置はどうか ① 正しい位置 ② 内側か外側に寄っている ③ 黒目がいつもゆれている ④ その他
B. テレビを見るとききの距離はどの程度ですか ① 2 m以上 ② 1 m前後 ③ 30cm以内
C. テレビを見るとききの態度はどうか ① 正しい姿勢 ② 目を細くする ③ 顔を横にする ④ その他
D. 家族でメガネまたはコンタクトレンズ使用者は いますか ① いない ② いる
E. 戸外でまぶしがりますか ① いいえ ② はい
F. 暗いところで物につまづきやすいですか ① いいえ ② はい
G. その他目について気になっていることをおきか せ下さい。

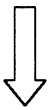
表4 眼科精密検査結果の内訳(105名)

要観察児(17名)		要医療児(19名)	
視力について	7	視力について	7
遠視	4	遠視	3
近視	2	遠視性乱視	2
乱視	1	近視	2
斜視	1	乱視	2
結膜炎	1	近視の疑い	1
霰粒腫	1	眼瞼及び結膜炎	1
		内反症	1





検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



1.はじめに

昭和 59 年度は現行の母子保健制度に対して総論的に第一線の小児科医としての意見を総め今後の方針について検討した。今年は一歩進めて具体的に新しい試みとして4才児健診について一部テストケースとして実施したのでその成績について検討した。